

浜田廣介 原作 60分

劇団め組名作劇場
Bグループ作品
低学年用 | 高学年用

泣いた赤おに



ある山の中に、人間たちと仲良くしたい赤おにが住んでいました。

でも、人間たちは、こわがって誰も近づこうとしません。

そこで、「ココロノ ヤサシイ オニノウチデス。」という立て札を書き、家の前にたてておきました。

しかし、誰一人として遊びにくる事はありませんでした。

それをみかねた青おには、親友赤おにのために、一大計画を立てます。

その計画とは、「自分が村で大暴れをし、そこに赤おにくんが出てきて、自分をこらしめる。そうすれば、人間たちも、赤おにくんはやさしいということがわかるだろう」というもの。計画は大成功！

赤おの家には毎日のように村人たちが、遊びにくるようになりました。でも、「赤おにくんが、村で暴れた自分とこのまま仲良く付き合っていれば、村人たちに誤解されてしまう・・・」そう考えた青おには、手紙を残し長い長い旅に出てしまいます。

「・・・どこまでも君の友達、青おに」

手紙を読んだ赤おには、大切な友達をなくした事に気付き、大粒の涙をごぼすのでした。



劇団め組は昭和59年より“愛と感動を届けよう”と全国の会館や小・中学校に、世界の名作の巡回公演を開始しました。私達は全国の子供達に『愛とは、友情とは、そして勇気や真の正義とは一体何か』等の人間としての普遍的なテーマを問い合わせていきたいと願っております。これからも江戸時代の火消し団体“め組”的に、若さと躍動感に溢れ、情熱と誇りを失わず、より良い作品をお届けいたします。

太宰治 原作 80分

走れメロス

妹の婚礼の衣裳を買いにシラクスの街にやってきたメロスは、街の異変に気付きます。

道行く人に尋ねると、「王が、妄想に取り付かれ、街の人間を皆殺しにしている。」というのです。

激怒したメロスは王城に乗り込みますが、たちまち捕えられます。死を覚悟したメロスでしたが、ひとつだけ心残りがありました。それは妹の事です。

メロスは王に、妹の結婚式を挙げさせ、帰ってくる為の三日間の猶予を願い出ます。王は許しますが、それには苛酷な条件が付けられました。

「約束通り帰らねば、人質となつた親友のセリヌンティウスを処刑する。」と云うのです。

信義は必ず神に通じるものとして信じ、義務遂行の為に力の限り走り続けるメロス。王の乱暴を諫める為に正義を貫くメロス。どんな困難も乗り越えてゆくメロスの姿が、鮮やかに描かれた、胸のすくような作品です。



(株)劇団め組

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-35-10
TEL:0422-22-0749/FAX:0422-22-0294

■ホームページアドレス <http://www.gekidan-megumi.co.jp/> ■メールアドレス info@gekidan-megumi.co.jp